

大峰奥駆道第1回 吉野から大天井ヶ岳を経て洞川まで

【日程】2016年4月16日～17日(1泊2日:避難小屋泊)

【メンバー】男性4名 女性6名

【アクセス】電車 バス

【天気】晴れのち雨

コースタイム	***活動記録***
<p>16日 7:20 近鉄「阿部野橋」発 8:52 「吉野」着 9:10 登山開始 9:30 下千本 金峯山寺着 10:45 中千本 吉野水分神社 11:30 奥千本 金峯神社 14:00 四寸岩山 15:27 二蔵小屋着</p>	<p>今年の街の桜は、あっというまに咲いて、あっというまに散ってしまったけれど、吉野も残念ながら、同じようなものだった。一目千本の桜を期待しての山行だったけれど、奥千本までは盛りをすぎてちらほら。有名な一目千本も、すっかり新緑の景色に変わってしまっていた。汗ばむほどの陽気の中、観光道路を数々の誘惑に負けまいと登っていく。(最後には、おいしい誘惑に負けて、お饅頭と羊羹を購入してしまったけれど(~_~;))</p> <p>奥千本あたりでやっと吉野らしい盛りの桜に出会った。</p> <p>奥千本から先はいよいよ本格的な大峰奥駆道。いきなりの急斜面の登行から登山道が始まる。登山道と舗装道が何度か交錯して、モノレールの線に沿って歩いていくと、四寸岩山に到着した。そこから1時間ほどで二蔵小屋に到着。トイレ完備のきれいな避難小屋で毛布に布団まで常備してあった。若い3人パーティと一緒に一夜を過ごす。</p>
<p>17日 5:30 小屋出発 6:45 大天井ヶ岳 7:30 五番関 8:40 母公堂 女人結界 9:20 洞川温泉(登山終了) 11:25 バスにて 下市口へ 14:54 急行にて「阿部野橋」へ 15:32 「阿部野橋」着 解散</p>	<p>まるで民宿のように布団を敷き、わいわい食事しながら、あっというまに熟睡。実に快適な避難小屋だった。唯一の難点は、水場が遠かったことか。水汲んでくれたみなさん、ありがとうございました。</p> <p>2日目は、おいしいお餅スープをいただいた後、小雨と強風の中、大天井ヶ岳から洞川をめざす。天気予報では暴風雨の予想だったが、以外にも雨はひどくならない。稜線では強風に吹かれたものの、結局、最後まで大した天気の崩れもなく、大天井ヶ岳でも余裕の記念撮影。洞川の林道に出る頃には、時折晴れ間も出るほど。</p> <p>コースタイムより早く、洞川温泉街まで降りてくることができました。</p> <p>温泉に入ってさっぱりした後、バスで下市口へ。駅に着いた頃にはすっかり天気も回復して、汗ばむほどの陽気になっていた。</p> <p>晴れ男と晴れ女の勝利か!? はたまた日頃の行いの良さが幸いしたのか、予想を大きく外れたいい山行になった。</p>

【写真】



1.吉野駅に到着。大勢の観光客が



2.七曲りを、下千本へ



3.ケーブル山上駅前。シャクナゲが咲いていた



4.金峯山寺に到着。国宝の蔵王堂



5.大峰奥駆道の道標。中千本に向かう。



6・誘惑の多かった観光道路。



7.満開の八重桜の下で。



8・紅色のマンサクの花



9.一目千本のはず…だった



10.でも、きれいに咲いているところもあり



11 吉野水分神社。



12.日本最古の書院造の境内。国宝



13.いよいよ奥千本へ



14.金峯神社の前。桜が真っ盛り



15. いよいよ登山道へ



16. 急登。でも、涼しくて快適



17.黒滝村に入る



18めざす薊岳が見えてきた



19. 青根ヶ峰分岐



20日なたは暑い…



21. 心見茶屋跡



22.稜線に出た。素晴らしい景色が広がる



23.山頂までもう少し



24.本日の最高峰、四寸岩山に到着



25.みんなで記念撮影



26.山頂からの眺め



27.山上ヶ岳方面に向かう



28.足摺小屋。土間に、仏像が祀ってあるだけで、泊不向き



29.なかなか避難小屋に着かない



30.百町口。案内板で確認



31.やっと二蔵宿小屋に到着



32.翌朝5:30、小屋を出発



33.大天井ヶ岳小屋跡



34.山頂分岐



35.大天井ヶ岳到着



36.記念撮影



37.五番関。女人結界

女の字が外されいた



38.女人結界の断り書き



39.洞川林道出合。



40.新しい崩落あと。倒木が散乱していた



41.林道を、洞川温泉街へ



42.山上ヶ岳分岐



43.母公堂跡。女人結界



44.洞川温泉到着